

(資料)

Re BORN

Vol.4

社会福祉法人青鳥会
虐待再発防止広報

令和3年3月15日発行

人権擁護委員会の

取り組み探訪記⑥

1月の「愛光園」取り組みについてお知らせします。



うまく進んでいること

- ・利用者様の記録を残すことで次の支援に繋がる為、記録を残すことが大事だと再認識した。



行き詰っていること

- ・委員会メンバー以外の職員への周知不足。(委員会がどのような活動を行っているかなど)

○目標『利用者の声を聞きます』今月の振り返り(人権擁護委員1人ずつ評価意見)

- ・利用者の声を定期的に聞くようにしている。
- ・利用者と話をしたが記録に結び付いていない事があった。

- ・話をする利用者に偏りがあつた。(話が出来る利用者に偏つてしまった)

- ・利用者の様子を残すことで次の支援に繋がっていた事例があった。【利用者の声】としての記録だけでなく利用者の様子を記録することで次の支援に繋がるので今後も記録することが大事。

3月の取組み予定

「利用者に対して、威圧的な態度、命令口調、「〇〇して」「ダメ」などで接していませんか」に取り組む。

※人権擁護委員会の活動の方向が見えてきた半面、委員の抱える作業の加重も見えてきました。新年度体制づくりに向けた取り組みの方向を情報交換しながら固めていきます。

次号は吉野学園の活動をお伝えします

Re BORNは毎月15日頃発行予定